

● 8月4日(木) 曇のち晴 ニセイカウシュッペ山(1879m)

○ 4時半起床。外は曇っている。今日はニセイカウシュッペ山に登る予定だ。ゲートの鍵の番号は一昨日聞いてある。天気予報では天気は悪くない。とにかく行ってみよう。

・東京のライダーおじさんはテントを張って寝ていたが、私が起きると同時に起きて来て、朝食をとりながらいろいろ話をして時間を食った。早く出かけようと思っていたのにちょっと遅くなった。

6時前に当麻を後にし愛別から国道273号線(上川国道)を東へ走り、上川中越にある「ニセイカウシュッペ山・登山道入り口」の立派な

標識に従って右折して林道に入る。途中のゲートは一昨日聞いておいた「1732」で解錠して無事通過。林道をひたすら走る。



ゲートは無事通過



・林道を更に進みあと少しと云う所に、砂利を敷いて補修した急坂があった。そういえば一昨日鍵の番号を聞いた時「4駆じゃないと登れないところがあるようです」と云っていたのを思い出した。ここか！ 何回か登坂をトライしたが砂利が深くて空転し登れない。仕方なくここに車を置いて歩いて登山口まで行くことにした。



この砂利の急坂が登れない



やっと登山口に着了

・地図で見ると登山口まであと少しに見えたが、実際は2km以上もあり標高差も200m余、40分もかかって登山口に着了。幸か不幸か天気が悪く太陽が出ていないので暑くなかった。途中で2台の車に抜かれたが、やつらはみんなあの難所を突破してきたのだな。登山口には10台近く車が止まっている。みんな4駆なのかな。

・結局登り始めたのが8時過ぎになった。どんよりと曇った草付きの登山道を延々と3kmも歩いて見晴台へ着了。車を下りてから5km以上も歩いている。のんびり歩いているので途中から香川人と地元の男性2人組に追いつかれた。前になったり後になったりして特に会話は無いが一緒に歩いた。ここまで周りは霧一色で何も見えず、見晴台からも何も見えない。

途中ヤマハハコ、ズダヤクシュ、ミヤマチドリ等が咲いていた。

ミヤマチドリが咲いていた →





・尾根に出たとたんにお花畑が展開した。これがニセイクウシュツペ山の醍醐味だ！シナノキンバイ、ウサギギク、モミジカラマツ、エゾツツジ、チングルマの実などが咲き誇るお花畑が斜面に広がり、



シナノキンバイとミヤマカラマツ



ウサギギク・エゾツツジ・チングルマ

道端にはクルマユリ、エゾノレイジンソウ、ウメバチソウ、シオガマガク、トモエシオガマ、エゾヒメクワガタ、エゾコザクラ、ヨツバシオガマなどが切れ目なく咲いている。



クルマユリ



トモエシオガマ



エゾコザクラ

極めつけは山頂近くに咲いていたリンネソウ（ツインフラワー）だ。二輪ずつペアでかわいい花を垂れている。

残念ながら一面霧の中でお花畑も霧にかすんでいる。晴れていたらさぞ美しいだろう。



リンネソウ

・時間も疲れも忘れて写真を撮りながらのんびり登り、11時過ぎに山頂に着いたが、山頂は霧で何も見えず、おまけに風が強くて寒い。香川のおじさんたちは山頂の岩陰で昼食を撮っていたが、私は記念写真を撮ってすぐ下山した。去年も天気が悪く霧の中だったので2年続けてこの山には嫌われた。途中の岩陰で昼食をとり、さっさと下山したが下る途中で霧が晴れ、いま下ってきた稜線がはっきり見えた。ちょっと下りを焦りすぎたかな。





## ニセイカウシュッペ山



・見晴台を過ぎると白樺林に入り、お花畑とはお別れだが天気はどんどん良くなり登山口近くではすっかり青空が広がっていた。ただ山頂方面は雲がかかっており、まだ霧の中だろうなと思って慰めた。

13:40に登山口に到着した。車が10台位止まっている。

・私はここからまだ車の所まで2.5kmも歩かなければならない。皮肉にもすっかり天気が良くなり太陽の照りつける炎天の砂利道を40分も歩いてやっと車に辿り着いた。私の他にここに止めているのが1台しかいない。あとはみんなこの砂利急坂を登って行ったんだな。そういえば香川のおじさんたちは2駆だが何回も突っ込んで難関の砂利急坂を登ってきたと云っていた。私も諦めずに無理して登って行けば良かったかな。途中で車2台に抜かれた。チキショウ！



登山口までの往復で5km歩き、登山口からの距離が11.5kmだから、今日は17km近く歩いたことになる。歩数計を見ると約30000歩も歩いていた。疲れたな！

・今日の泊まりはお馴染みの層雲峡ユースホステル。今日途中で予約を取っておいた。林道を約20分走り国道に出て、今朝来た道を少し戻って上川町から国道39号線を層雲峡へ向かう。距離はそんなになく車も殆ど走っていないので、のんびり走って4時半に層雲峡に着いた。

・今日は101号室、夕食付4900円。玄関の水道で洗車し車の中を整理し、朝陽館の風呂へ。楽しみにしていたあの展望大浴場は今日は女性の日。男性は今日は隣の露天風呂だ。これも眺望がすばらしく、なかなか良い風呂だ。どうも去年もこの露天風呂だったような記憶があるが、去年は風邪をひいていて熱があったので良く覚えていない。

・今日101号室に泊まるのは私を入れて3人。一人は名古屋のおじさん。車で一人で北海道の観光旅行をしていると。今日は知床岬の遊覧船を楽しんできて、明日は札幌から帰宅するそうだ。もう一人は外人の青年ですごいイケメン。すごい美人の彼女とカップルでいるがもちろん部屋は別。何も話さないののでどこの国から来たとか、どこを旅行しているのだから知らない。

・夕食は同室の名古屋のおじさんとお話しながら。でもあまり話が弾まない。夕食後ベッドでパソコンをして過ごした。コンセントがあるので電源の心配がなくメールや写真の整理で10時過ぎまで起きていた。



・今日のニセイカウシュッペ山は天気が悪かったけど、花は多くて綺麗だったし、良く歩いたし、充実した一日だったな。

明日はどこへ行こうか。

今日ニセイで会ったおじさんが

「銀泉台から駒草平がきれいだ」と云っていたから駒草平へでも行ってみようかな。

● 8月5日(金) 晴 移動(早雲峡～銀泉台～北見～札弦)

○朝銀泉台に行ったら冷たい雨が降っていたので急遽晴天域の東へ移動し札弦パパスランドへ。明日は久しぶりで斜里岳へ登ろうと思う。

・あさ5時起床。山へ行く連中はもうほとんど起きていて山の支度をしている。私は今日は休養日なのでのんびりと駒草平でも行って遊ぼうかと思っている。

・食堂でおにぎりで朝食を摂りながら日記を書いている。いま6時半。YHの朝食は7時からだが、今は誰もいなくて静かだ。外の天気はあまり良くないようだ、少なくとも太陽の気配は無い。

・7時半にYHを出て銀泉台へ向かった。途中から雨模様となり8時25分に銀泉台に到着したが、ここは冷たい霧雨が降っている。気温14℃、寒い！ 駐車場には車が10台以上止まっているが、みんな赤岳へ登っているのだろうか。私にとってはとても山へ登るような状態ではない。天気予報を調べると知床方面は天気が良く、明日からも晴天が続くとある。よし、明日は斜里岳へ登ろう。と急遽銀泉台を後にして知床方面へ車を走らせた。

・北見国道(国道39号線)東へ向かい、石北峠を越えたところから雲が切れ真夏の暑い太陽が照りつけはじめた。道の駅「おんねゆ温泉」で一休み。相変わらず立派な駅だが人が少ない。時間的にからくり時計を見られなかった。駅を出てさらに東へ向かい、北見の街を抜け女満別へ。北見の街は初めて来たが、さすが北の主要都市だけあって大きな街だ。(10年も北海道全土を走り回ってきたのに北見へ来たのが初めてとは、自分でも驚いた)信号が多くて街を抜けるのに難儀した。

・道の駅「メルヘンの丘めまんべつ」は相変わらずメルヘンチックな可愛い駅だ。天気は快晴、すっかり晴れわたり太陽がギンギンに暑い、気温は24℃で日影は爽やかだ。水道設備があったので層雲峡から銀泉台で汚れた車を水洗し、さっぱりした車で網走へ向かった。明日は斜里岳へ登るから今日の宿泊は道の駅「パパスランド札弦」に決めた。



冷たい雨の降る銀泉台



道の駅「おんねゆ温泉」



道の駅「メルヘンの丘めまんべつ」



網走湖畔で一服して道の駅「網走」へ。



網走湖畔で一休み

・右手に湧湖左手に湿性花園を見ながら国道 244 号線をのんびり走る。目の前に明日登る斜里岳が見えてきた。頭を雲の中に隠している。明日の天気はどうだろうか？



湿性花園を左手に見ながら



目の前に斜里岳を見ながら

斜里の街で食料を調達して今日の宿泊地・道の駅「パパスランド札弦」に到着した。

・この駅はリニューアルされて、以前は無かった買い物スペースなどもできていてすっかり立派な駅になっていた。地酒の試飲などもあり楽しませていただいた。リニューアルしてから 4 年経つそうなので、私は 4 年以上もここに来ていなかったことになるな。受付のおばさんはリニューアル前からいる人で面影があり懐かしかった。



道の駅「パパスランド札弦」

ここ札弦はスピードスケートの岡崎朋美さんの出身地で、駅の一角に記念展示スペースがある。



・5時過ぎに風呂へ行ったが、ここは以前とあまり変わりがなく料金も390円也と安い。のんびりと温泉につかり車に戻って夕食。

夕闇に聳える斜里岳を目の前に見ながらビールが旨い。

・明日は斜里岳だ、天気も良さそうだし、期待しながら横になった。

駐車場はブヨがやたらに多く参った！

